

戀にやせる (五卷)

帝キネ声屋現代映畫

原作者 菅尾純一郎氏
監督者 渡邊新太郎氏
撮影者 谷口禎氏

主要役割

社員員辰巳 瀨川銀湖氏
妻 柳まさ子嬢
娘君子 金澤美津子嬢
タイピスト文子 森かね子嬢

社員員杉本 齋藤紫香氏
A 社員々長 小島洋々氏
B 社員々長 浅野節氏

略筋省略

菅屋喜劇も此位の程度であつたら我慢が出来
る、そうしてくだらなにするのも一寸氣が利い
たものになるのもやはり脚色者と監督者の扱ひ
一つにあると思はしめた、本篇なども筋から云
つたらやはりくだらない部に屬するが何處かに
氣が利いた所があるので腹が立たない。そうし
た意味で原作者の菅尾純一郎氏と監督の渡邊新
太郎氏に好意を寄せる事が出来た。配役中では
齋藤紫香氏の杉本が一番適役であり目愉快な役
であつた。柳まさ子嬢が珍らしく濫い役をやつ
て居るがこんな役の方が無事で好い。森かね子
嬢のタイピストは土臭い感じがした。瀨川銀湖
氏の辰巳は大真面目に勤めて居る所をさる。因
みに本映畫もストップク作品の一つで昨年末に製
作された映畫である。

山本 綠葉

興行價値——サラリマンの戀を描いた喜劇だが
ら此階級の人が見たら一層興味を感ずるだらう
。又一般受けも悪くはない。(八月五日大
阪青邊劇場 神戸相座座 京都キネマ俱樂部封
切)